

|     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| 1.  | ④ | 11. | ① | 21. | ③ | 31. | ① | 41. | ① |
| 2.  | ③ | 12. | ③ | 22. | ② | 32. | ① | 42. | ④ |
| 3.  | ② | 13. | ② | 23. | ② | 33. | ④ | 43. | ④ |
| 4.  | ① | 14. | ④ | 24. | ④ | 34. | ④ | 44. | ③ |
| 5.  | ① | 15. | ③ | 25. | ② | 35. | ④ | 45. | ③ |
| 6.  | ① | 16. | ④ | 26. | ④ | 36. | ② | 46. | ③ |
| 7.  | ④ | 17. | ② | 27. | ① | 37. | ① | 47. | ② |
| 8.  | ③ | 18. | ② | 28. | ② | 38. | ③ | 48. | ② |
| 9.  | ③ | 19. | ③ | 29. | ③ | 39. | ② | 49. | ④ |
| 10. | ④ | 20. | ③ | 30. | ① | 40. | ④ | 50. | ② |

1.

解答 ④

## 【解説】

正解は④の`correct`で、形容詞として「正しい、正確な」、動詞として「～を訂正する、修正する」という二つの意味を持ちます。形容詞の例: `Please check if your name and address are correct.`（あなたの名前と住所が正しいか確認してください）。動詞の例: `The teacher is correcting the students' homework.`（先生は生徒たちの宿題を訂正している）。他の選択肢は、①`collect`が「～を集める」、②`connect`が「～をつなぐ」、③`direct`が「～を指示する」という意味です。

◆補足：対義語は、否定の接頭辞`in-`を付けた`incorrect`（不正確な）です。名詞形は`correction`（訂正）です。`right`も「正しい」ですが、`correct`は特に、事実や基準に照らして間違いがない、というニュアンスで使われます。

2.

解答 ③

## 【解説】

正解は③の`face`です。「顔」という名詞の意味が有名ですが、動詞としては問題や困難、危険などに避けずに「直面する、立ち向かう」という意味で使われます。`It is time to face the reality.`（現実と向き合う時だ）。他の選択肢は、①`trace`が「～の跡をたどる」、②`place`が「～を置く」、④`race`が「競争する」という意味です。

◆補足：`be faced with`～の形で「～に直面している」と受け身で使われることも多いです。`The company is faced with serious financial problems.`（その会社は深刻な財政問題に直面している）。`face a challenge`（課題に直面する）。

---

3.

**解答** ②

**【解説】**

正解は②の`product`で、「製品、生産物」を意味します。工場などで生産されたり、自然に産出されたりした物品を指します。`They are developing a new line of software products.`（彼らは新しい系統のソフトウェア製品を開発している）。他の選択肢は、①`project`が「計画、プロジェクト」、③`profit`が「利益」、④`progress`が「進歩、前進」という意味です。

◆補足：動詞形は`produce`（～を生産する）、生産することは`production`（生産）、生産者は`producer`です。これらの単語ファミリーをまとめて覚えると効果的です。`dairy products`（乳製品）、`a new product launch`（新製品の発売）。

---

4.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「(特定の) 時、機会、行事」です。`occasion`は、単なる「時（`time`）」ではなく、何か特別な出来事が起こる「時、場合」や、結婚式や祝賀会といった「特別な行事、儀式」を指す名詞です。`I have only met him on one occasion.`（私は彼に一度しか会ったことがない）。`It was a special occasion for the whole family.`（それは家族全員にとって特別な行事だった）。②「意見」は`opinion`、③「職業」は`occupation`、④「操作」は`operation`です。

◆補足：`on occasion`または`on occasions`で「時々、時折」という意味の熟語になります。これは`sometimes`や`occasionally`（副詞）とほぼ同じ意味です。コロケーションとしては、`a formal occasion`（正式な行事）や`on this occasion`（この機会に）などがあります。

---

5.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「従業員」です。`employee`は、会社や個人に雇われて給料をもらって働く「被雇用者、従業員、社員」を意味する名詞です。`The company provides health insurance for all its employees.`（その会社は全従業員に健康保険を提供している）。②「雇用主」は`employer`で、`-ee`（～される人）と`-er`（～する人）の対比で覚えると効果的です。③「応募者」は`applicant`、④「敵」は`enemy`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`employee`は動詞`employ`（～を雇う）から派生した言葉です。名詞の`employment`は「雇用」を意味します。`full-time employee`（正社員）、`part-time employee`（パートタイマー）。

---

6.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「幅、横」です。`width`は名詞で、「幅、横の長さ」を意味します。`The swimming pool is 25 meters in length and 10 meters in width.`（そのプールの長さは25メートル、幅は10メートルだ）。②「重さ」は`weight`、③「高さ」は`height`、④「長さ」は`length`がそれぞれ適切な単語です。これらは物の大きさを表す基本的な寸法なので、セットで覚えておきましょう。

◆補足：`width`は形容詞`wide`（幅が広い）の名詞形です。`-th`を付けて名詞になるパターンには、`long`→`length`（長さ）、`strong`→`strength`（強さ）、`deep`→`depth`（深さ）などがあり、まとめて覚えると効率的です。

---

7.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④の`through`で、「～を通して、～を通り抜けて」という意味の前置詞です。トンネルや森の中を通り抜けたり、期間の「始めから終わりまで」という継続を表したりします。`The train passed through a long tunnel.`（その列車は長いトンネルを通り抜けた）。`He supported me through difficult times.`（彼は困難な時期を通して私を支えてくれた）。他の選択肢は、①`though`が接続詞で「～だけれども」、②`thought`が名詞で「考え」、③`throw`が動詞で「～を投げる」という意味です。これらはスペルと発音が似ているので注意が必要です。

◆補足：`go through`～で「～を経験する、通り抜ける」、`look through`～で「～に目を通す」、`see through`～で「～を見抜く」など、多くの句動詞で使われます。

---

8.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「利点、有利な点」です。`advantage`は、「強み」や、他よりも有利な立場、良い結果をもたらす状況・条件を指す名詞です。`One of the advantages of living in a city is the convenient public transport.`（都市に住む利点の一つは、便利な公共交通機関だ）。①「冒険」は`adventure`、②「広告」は`advertisement`、④「助言」は`advice`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：対義語は`disadvantage`（不利な点、欠点）です。`take advantage of`～で「～を（うまく）利用する」という重要な熟語になりますが、文脈によっては「（人）につけこむ」という悪い意味にもなるので注意が必要です。

---

9.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「(旅行の) 手荷物」です。`baggage`は、旅行の際のスーツケースやバッグなどを含めた手荷物全般を指す名詞です。`You can only bring one piece of carry-on baggage.` (機内持ち込み手荷物は一つしか持ち込めません)。①「容器」は`container`、②「ごみ」は`garbage`や`trash`、④「野菜」は`vegetable`です。

◆補足：`baggage`はアメリカ英語で、`luggage`はイギリス英語でより一般的に使われますが、どちらも通じます。文法的には数えられない名詞（不可算名詞）として扱われるのが基本です。`baggage claim`で「手荷物受取所」を意味します。

---

10.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④の`employ`で、「～を雇う、雇用する」という意味の動詞です。人にお金を払って、仕事をしてもらうことを表します。`The hotel employs about 100 people.` (そのホテルは約 100 人を雇用している)。他の選択肢は、①`imply`が「～をほのめかす」、②`apply`が「申し込む、適用する」、③`deploy`が「(軍隊などを) 配置する」という意味です。

◆補足：名詞形は`employment` (雇用)、雇用主は`employer`、従業員は`employee`です。`-er` (～する人) と`-ee` (～される人) の対比は、`interviewer`と`interviewee`など他の単語にも見られます。`employ`は`hire`と意味が似ていますが、`employ`の方がより長期的で公式な雇用関係を指す傾向があります。

---

11.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「政治、政治学」です。`politics`は、国や地域を統治するための活動や、それに関する力関係、またそれを研究する学問分野を指す名詞です。`Many young people are not interested in politics.` (多くの若者は政治に関心がない)。②「警察」は`police`、③「政策」は`policy`、④「礼儀」は`politeness`が適切な単語です。これらはつづりや発音が似ているので、混同しないようにしましょう。

◆補足：「政治家」は`politician`です。形容詞形は`political` (政治の)。`a political issue` (政治問題)。`politics`は、形は複数形ですが、学問名を指す場合は単数扱いとなります。`Politics is a complicated field.` (政治学は複雑な分野だ)。

---

12.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③の`decrease`で、「減少する、減る」という意味の動詞です。数、量、程度、価値などが少なくなることを表します。`The population of the town has decreased by half.`（その町の人口は半分に減少した）。他の選択肢は、①`increase`が「増加する」で`decrease`の対義語、②`release`が「～を解放する、発売する」、④`degree`が名詞で「程度、度」という意味です。

◆補足：`decrease`は名詞として「減少」という意味でも使われます。動詞の場合、アクセントは後ろの`crease`に、名詞の場合は前の`de`に置かれることが多いです。`a sharp decrease in sales`（売上の急激な減少）。

---

13.

**解答** ②

**【解説】**

正解は②「収穫」です。名詞の`harvest`は、農作物を刈り入れたり取り入れたりすること、またその「収穫物、収穫高」を意味します。`The farmers are expecting a good harvest this year.`（農家の人たちは今年の豊作を期待している）。①「港」は`harbor`、③「困難」は`hardship`、④「収穫祭」は`harvest festival`で、`harvest`を含むより具体的な表現です。

◆補足：`harvest`は動詞として「～を収穫する」という意味でも使われます。`It's time to harvest the potatoes.`（ジャガイモを収穫する時期だ）。

---

14.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④「～なしで」です。`without`は、「～がなくて」という意味の前置詞です。人や物、あるいはある状態が存在しないことを表します。`I can't live without you.`（あなたなしでは生きていけない）。①「～と一緒に」は`with`で、`without`の対義語です。②「～の内部に」は`within`、③「～の間に」は`between`が適切な単語です。

◆補足：`without -ing`の形で「～しないで」と表現することもできます。`He answered without thinking.`（彼は考えずに答えた）。`without a doubt`で「疑いなく、確かに」という熟語になります。

---

15.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「出来事、行事」です。`event`は、社会で起こる「出来事、事件」や、計画された「行事、イベント」を意味する名詞です。`The concert was the biggest musical event of the year.`（そのコンサートはその年最大の音楽イベントだった）。①「運動」は`exercise`、②「証拠」は`evidence`、④「入り口」は`entrance`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`a sporting event`（スポーツイベント）、`a historical event`（歴史的な出来事）。`current events`で「時事問題」を意味します。`in any event`で「いずれにせよ、ともかく」という熟語になります。

---

16.

解答 ④

【解説】

正解は④の`negative`で、「否定的な、消極的な」という意味の形容詞です。物事の悪い側面を見たり、好ましくない結果を予想したりする態度や意見を表します。`He has a negative outlook on life.`（彼は人生に対して否定的な見方をしている）。他の選択肢は、①`native`が「母国の、生まれつきの」、②`narrative`が名詞で「物語、語り」、③`nervous`が「緊張した、神経質な」という意味です。

◆補足：`negative`の対義語は`positive`（肯定的な、積極的な）です。この対義語のペアは非常に重要です。医学の文脈では「（検査結果が）陰性の」という意味でも使われます。`The result of the test was negative.`（検査結果は陰性だった）。

---

17.

解答 ②

【解説】

正解は②の`medium`で、名詞として「（情報伝達の）媒体、手段」、形容詞として「中間の、並の」という意味を持ちます。名詞の例: `Television is still a powerful mass medium.`（テレビは依然として強力なマスメディアだ）。形容詞の例: `I'd like a T-shirt in a medium size.`（M サイズの T シャツが欲しいです）。他の選択肢は、①`median`が「中央値」、③`middle`が「真ん中」、④`medal`が「メダル」という意味です。

◆補足：`mass media`（マスメディア）の`media`は、`medium`の複数形です。ステーキの焼き加減で`medium rare`（ミディアムレア）や`medium well`（ミディアムウェル）という言葉聞いたことがあるかもしれませんね。

---

18.

解答 ②

【解説】

正解は②「～をあきらめる、やめる」です。`give up`は、目標や計画、習慣などを途中で断念することを表す、非常に一般的な句動詞です。`She gave up her dream of becoming a pianist.`（彼女はピアニストになるという夢をあきらめた）。①「～を配る」は`give out`～、③「譲る、屈する」は`give in`、④「～を拾い上げる」は`pick up`～がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`give up`の後ろには、名詞または動名詞（-ing 形）が続きます。`My doctor told me to give up drinking.`（医者は私に禁酒するように言った）。`Don't give up!`（あきらめるな！）は、人を励ますときの決まり文句ですね。

---

19.

**解答** ③

【解説】

正解は③の`thank`で、「～に感謝する」という意味の動詞です。`I really want to thank you for your help.`（あなたの助けに本当に感謝したいです）。他の選択肢は、①`think`が「考える」、②`tank`が「タンク、水槽」、④`rank`が「階級」という意味です。

◆補足：`Thank you.`という表現は基本中の基本ですね。`thank A for B`で「A に B のことで感謝する」という形をしっかりと覚えておきましょう。`I thanked her for the lovely gift.`（私は彼女に素敵な贈り物のことでお礼を言った）。`Thanks to`～で「～のおかげで」という熟語になります。

---

20.

**解答** ③

【解説】

正解は③「可能性」です。`possibility`は、「見込み、起こりうること」を意味する名詞です。何かが起こりうること、あるいは真実でありうることを指します。`There is a possibility that the flight will be delayed.`（その便が遅れる可能性がある）。①「人気」は`popularity`、②「個性、性格」は`personality`、④「財産、不動産」は`property`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`possibility`は形容詞`possible`（可能な）の名詞形です。対義語は`impossibility`（不可能性）です。`the possibility of success`（成功の可能性）。

---

21.

**解答** ③

【解説】

正解は③「大西洋」です。`the Atlantic Ocean`は、ヨーロッパ・アフリカ大陸と南北アメリカ大陸の間にある大洋です。`The first successful solo flight across the Atlantic Ocean was in 1927.`（初の大西洋単独無着陸飛行の成功は 1927 年だった）。①「太平洋」は`the Pacific Ocean`、②「インド洋」

は`the Indian Ocean`、④「北極海」は`the Arctic Ocean`です。特定の海や大洋の名前には`the`が付くのが原則です。

◆補足：`Atlantic`は、ギリシャ神話のアトラス山脈に由来すると言われています。世界の五大洋の名前を地図と合わせて覚えると、地理の知識も深まり一石二鳥ですね。

---

22.

解答 ②

【解説】

正解は②「～と連絡を取る」です。動詞の`contact`は、「～に接触する、連絡を取る」という意味で、電話、メール、手紙などで相手とコミュニケーションをとることを表します。`Please feel free to contact me if you have any questions.`（何かご質問がありましたら、お気軽にご連絡ください）。①「～と契約する」は`contract`、③「～と競争する」は`compete`、④「～を比較する」は`compare`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`contact`は名詞として「連絡、接触」という意味でも使われます。`keep in contact with ～`で「～と連絡を取り合っている」という状態を表します。`contact information`（連絡先情報）。

---

23.

解答 ②

【解説】

正解は②の`check in`で、「(ホテル・空港などで) 搭乗・宿泊手続きをする」という意味です。ホテルに到着して部屋の鍵を受け取ったり、空港で航空券を発券してもらったりする手続きを指します。`You can check in online 24 hours before your flight.`（フライトの24時間前からオンラインで搭乗手続きができます）。他の選択肢は、①`check out`が「チェックアウトする」、③`look into`が「～を調査する」、④`turn in`が「～を提出する」という意味です。

◆補足：`check in`は名詞として「チェックイン、搭乗手続き」という意味でも使われます。`What time is check-in?`（チェックインは何時ですか?）。対義語の`check out`もセットで覚えましょう。

---

24.

解答 ④

【解説】

正解は④「～に参加する」です。`take part in ～`は、イベントや活動、会議などに、一員として加わることを意味する熟語です。`All students are encouraged to take part in club activities.`（全ての生徒が部活動に参加することが奨励されている）。①「～に取って代わる」は`take the place of ～`、②「～を引き継ぐ」は`take over ～`、③「～の世話をする」は`take care of ～`がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：`take part in`は`participate in`とほぼ同じ意味ですが、`take part in`の方がより一般的で口語的な響きがあります。`part`（部分）を`take`（取る）することから、「(活動の) 一部を担う」→「参加する」とイメージすると覚えやすいでしょう。

---

25.

**解答** ②

**【解説】**

正解は②の`pray`で、「祈る」という意味の動詞です。神や超越的な存在に対して、願い事をしたり、感謝したり、あるいは礼拝したりすることを表します。`They prayed for the safety of the missing hikers.`（彼らは行方不明のハイカーたちの安全を祈った）。他の選択肢は、①`play`が「遊ぶ」、③`prey`が名詞で「餌食」、④`pay`が「支払う」という意味です。`pray`と`prey`は発音が同じ同音異義語なので、文脈での判断が重要です。

◆補足：名詞形は`prayer`（祈り）です。`say a prayer`で「祈りをささげる」となります。

---

26.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④の`recycle`で、「～を再生利用する、リサイクルする」という意味の動詞です。使用済みの製品（紙、ガラス、プラスチックなど）を、原材料として再び利用することを表します。`This material can be easily recycled.`（この素材は簡単にリサイクルできる）。他の選択肢は、①`reduce`が「～を減らす」、②`reuse`が「～を再利用する」、③`remove`が「～を取り除く」という意味です。

◆補足：名詞形は`recycling`（リサイクル）です。`re-`（再び）と`cycle`（循環させる）が組み合わさった単語です。環境問題における3R（`Reduce`、`Reuse`、`Recycle`）は、英語でも重要なキーワードです。

---

27.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①の`Europe`で、「ヨーロッパ」という大陸の名前を指す固有名詞です。そのため、文のどこにあっても最初の文字は`E`と大文字で書きます。`He has traveled to many countries in Europe.`（彼はヨーロッパの多くの国を旅したことがある）。他の選択肢は、②`Euro`が大文字で始まる場合、サッカーの欧州選手権などを指し、③小文字の`euro`はEUの通貨「ユーロ」を指します。④`European`は「ヨーロッパの」という形容詞、または「ヨーロッパ人」という名詞です。

◆補足：形容詞形は`European`です。`the European Union (EU)`（欧州連合）。

---

28.

**解答** ②

**【解説】**

正解は②の`fare`で、バス、電車、タクシー、飛行機などの乗り物の「運賃、料金」を意味します。

`You must pay the exact fare.`（あなたは正確な運賃を支払わなければならない）。他の選択肢もお金に関する言葉ですが、①`fee`は弁護士や医者などの専門家への「報酬」や、入場料・会費などの「料金」、③`price`は商品の「価格」、④`cost`は何かをするのにかかる「費用、コスト」を指します。これらは文脈によって使い分ける必要があります。

◆補足：`a bus fare`（バスの運賃）、`an air fare`（航空運賃）。`How much is the fare to the city center?`（市の中心部までの運賃はいくらですか？）は、旅行中に使える便利な表現です。

---

29.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③の`popularity`で、「人気、評判、大衆性」を意味する名詞です。多くの人々に好かれている度合いを指します。`The popularity of social media has grown rapidly.`（ソーシャルメディアの人気は急速に高まった）。他の選択肢は、①`population`が「人口」、②`possibility`が「可能性」、④`property`が「財産、不動産」という意味です。

◆補足：`popularity`は形容詞`popular`（人気のある）の名詞形です。コロケーションとしては、`gain in popularity`（人気上がる）、`lose popularity`（人気落ちる）、`the popularity of a singer`（歌手の人気）などがあります。

---

30.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「いくつかの」です。`several`は形容詞・代名詞で、「いくつかの、数名の」という意味です。`a few`（2、3の）よりは多いが、`many`（多くの）よりは少ない、漠然とした数を表します。後ろには数えられる名詞の複数形が続きます。`I read several books during the vacation.`（私は休暇中に数冊の本を読んだ）。②「深刻な」は`severe`、③「分離した」は`separate`、④「様々な」は`various`です。

◆補足：`several of ~`の形で「~のうちのいくつか」と表現することもできます。`Several of the eggs were broken.`（その卵のうちのいくつかは割れていた）。

---

31.

**解答 ①****【解説】**

正解は①の`charity`で、「慈善（事業）、チャリティー」または「慈悲、思いやり」を意味する名詞です。困っている人々を助けるための団体や、そのための活動を指します。`The concert was held to raise money for charity.`（そのコンサートは慈善のためにお金を集めるために開催された）。他の選択肢は、②`clarity`が「明快さ」、③`charm`が「魅力」、④`chart`が「図表」という意味で、つづりが似ていますが意味は異なります。

◆補足：形容詞形は`charitable`（慈悲深い、慈善の）です。`a charitable organization`（慈善団体）。`donate to charity`で「慈善事業に寄付する」となります。

---

32.

**解答 ①****【解説】**

正解は①の`on foot`で、「歩いて、徒歩で」という意味です。乗り物を使わずに、自分の足で移動する方法を表す決まった言い方です。`Since my office is nearby, I go to work on foot.`（私のオフィスは近くなので、徒歩で通勤しています）。他の選択肢は、②`by walk`や④`with foot`は不自然な英語です。③`on feet`は「（座ったり寝たりせず）立って」という意味で使われることがあります。

◆補足：交通手段を表す時は`by car`（車で）や`by train`（電車で）のように`by`を使うのが基本ですが、徒歩の場合だけは特別に前置詞`on`を使い`on foot`という形になります。この例外をしっかりと覚えておきましょう。

---

33.

**解答 ④****【解説】**

正解は④「距離」です。`distance`は、二つの点や場所の間の「隔たり、距離」を意味する名詞です。`The distance from my house to the school is about two kilometers.`（私の家から学校までの距離は約2キロメートルだ）。①「相違点」は`difference`、②「困難」は`difficulty`、③「抵抗」は`resistance`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`long-distance`で「長距離の」という形容詞になります。`a long-distance relationship`（遠距離恋愛）。`keep one's distance from ~`で「～と距離を置く、～と親しくしない」という熟語もあります。

---

34.

**解答 ④**

【解説】

正解は④「～と関連している」です。`be linked with ～`は、「～とつながっている、関連がある」という意味の熟語です。二つの事柄の間に、何らかの関係性やつながりがあることを示します。動詞`link`（～をつなぐ）の受け身の形です。`Smoking is closely linked with lung cancer.`（喫煙は肺がんと密接に関連している）。①「～で満たされている」は`be filled with ～`、②「～に頼っている」は`be dependent on ～`、③「～に似ている」は`be similar to ～`です。

◆補足：`link`は名詞として「つながり、関連、リンク」という意味でも使われます。ウェブサイトの「リンク」でおなじみですね。`with`の代わりに`to`が使われることもあります。`be linked to ～`。

---

35.

解答 ④

【解説】

正解は④の`take a look at ～`で、「～を（ちょっと）見る、一見する」という意味です。`look at`よりも少し気軽に、短い時間でさっと見るニュアンスがあります。`Can you take a look at my report before I submit it?`（提出する前に私のレポートにちょっと目を通していただけますか？）。他の選択肢は、①`keep an eye on ～`が「～から目を離さない」、②`take part in ～`が「～に参加する」、③`take advantage of ～`が「～を（うまく）利用する」という意味です。

◆補足：`take a look at`は`have a look at`とほぼ同じ意味で使えます。`Let's take a closer look at the data.`（そのデータをもっと詳しく見てみましょう）。

---

36.

解答 ②

【解説】

正解は②「兵士」です。`soldier`は、軍隊に所属し、国を守るために戦う「軍人、兵士」を意味する名詞です。`He decided to become a soldier to protect his country.`（彼は国を守るために兵士になることを決意した）。①「肩」は`shoulder`、③「～を解決する」は動詞の`solve`、④「避難所」は`shelter`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`a toy soldier`（兵隊のおもちゃ）。`soldier`は、より一般的な「軍隊」を意味する`army`や`military`と区別して使われます。

---

37.

解答 ①

【解説】

正解は①の`tour`で、「（観光）旅行、見学」を意味します。特定の場所や施設を順番に見て回るような旅行や見学を指します。`We went on a guided tour of the museum.`（私たちはその博物館のガイド付

きツアーに参加した)。他の選択肢は、②`travel`が「旅行」全般を指す最も広義な言葉、③`journey`が比較的長い「旅、道のり」、④`trip`が「(比較的短い)旅行」を指し、それぞれニュアンスが異なります。

◆補足：「観光客」は`tourist`、「観光旅行に行く」は`go on a tour`です。動詞として「～を旅行して回る」という意味でも使われます。`They are touring Europe this summer.`(彼らはこの夏、ヨーロッパを旅行して回っている)。

---

38.

解答 ③

【解説】

正解は③の`festival`で、「祭り、祝祭、催し物」を意味します。音楽祭や映画祭、地域の伝統的なお祭りなど、様々な行事を指す一般的な言葉です。`The town holds a cherry blossom festival every spring.`(その町では毎年春に桜祭りが開催される)。他の選択肢は、①`feast`が「ごちそう、宴会」、②`carnival`が「謝肉祭、カーニバル」、④`holiday`が「休日、祝日」という意味です。

◆補足：`a music festival` (音楽祭)、`a film festival` (映画祭)、`a school festival` (学園祭)。形容詞形は`festive` (お祭り気分の、陽気な) です。`The whole town had a festive atmosphere.` (町全体がお祭り気分だった)。

---

39.

解答 ②

【解説】

正解は②の`be used to`で、「～に慣れている」という意味です。この`to`は前置詞なので、後ろには名詞または動名詞(-ing 形)が続きます。`He is used to living in a big city.` (彼は大都市で暮らすことに慣れている)。他の選択肢は、①`used to do`が「以前は～だった (今は違う)」という過去の習慣、③`be likely to do`が「～しそうである」、④`have to do`が「～しなければならない」という意味です。

◆補足：`used to do` (過去の習慣) と `be used to -ing` (現在の慣れ) の使い分けは、英語学習者が非常によく間違えるポイントです。主語の後に`be 動詞`があるかどうか、`to`の後ろの形が動詞の原形か`-ing`形 (名詞) か、という二つの点に注目しましょう。

---

40.

解答 ④

【解説】

正解は④「政策、方針」です。`policy`は、政府、会社、団体などが、ある目的を達成するために定めた計画や行動指針を意味する名詞です。`The government's economic policy has been criticized.` (政

府の経済政策は批判されてきた)。①「警察」は`police`、②「政治」は`politics`、③「礼儀」は`politeness`です。これらはつづりや発音が似ているので、混同しないようにしましょう。

◆補足：`an insurance policy`で「保険証券」という意味にもなります。`It is our company's policy to...`（…が我が社の方針です）という形で使われることも多いです。

---

41.

**解答** ①

**【解説】**

正解は①「前方に、先に」です。副詞の`ahead`は、場所的に「前方に」あることや、時間的に「先」であること、あるいは進捗などが「進んでいる」ことを示します。`Go straight ahead, and you'll see the bank on your left.`（まっすぐ前に進んでください。そうすれば左手に銀行が見えます）。②「頭上に」は`overhead`、③「海外に、広く」は`abroad`、④「ほとんど」は`almost`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`ahead of ~`の形で「～の前に、～より進んで」という前置詞句としてよく使われます。`She is always one step ahead of everyone else.`（彼女は常に他の皆の一步先を行っている）。また、`go ahead`という表現は「どうぞ、お先に」と相手に許可を与える際や、「(計画などを) 進める」という意味で頻繁に使われます。

---

42.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④「～だと判明する」です。`turn out to be ~`は、「(意外にも) ~だと判明する、結局~だとわかる」という意味の熟語です。予想外の事実や結果が明らかになったときに使われます。`The person I thought was a stranger turned out to be my old classmate.`（見知らぬ人だと思っていたその人は、私の昔のクラスメートだと判明した）。①「～のふりをする」は`pretend to be ~`、②「～の代わりをする」は`take the place of ~`、③「～になる準備ができています」は`be ready to be ~`が適切な表現です。

◆補足：`It turned out that ...`という形で「…ということが判明した」と表現することもできます。`It turned out that the rumor was false.`（その噂は嘘だということが判明した）。

---

43.

**解答** ④

**【解説】**

正解は④「～を祝う」です。`celebrate`は、誕生日、記念日、勝利、お祭りなどを「祝う」という意味の動詞です。`My family gathered to celebrate my grandmother's 90th birthday.`（私の家族は祖母の

90歳の誕生日を祝うために集まった)。①「～を集める」は`collect`、②「～を飾る」は`decorate`、③「～を交換する」は`exchange`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：名詞形は`celebration`で、「お祝い、祝賀会」を意味します。`Let's have a celebration party for his success.`（彼の成功のためにお祝いのパーティーを開こう！）。

---

44.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③の`statement`で、「声明、申し立て、明細書」を意味する名詞です。自分の意見や事実などを、公式に、またはっきりと述べることを、またその述べた内容を指します。`The politician made a public statement about the scandal.`（その政治家はスキャンダルについて公式な声明を出した）。他の選択肢は、①`state`が「州、状態」や動詞で「述べる」、②`station`が「駅、署」、④`statute`が「法令」という意味です。

◆補足：`statement`は動詞`state`（～を（公式に）述べる）の名詞形です。コロケーションとしては`make a statement`（声明を出す）、`a bank statement`（銀行の取引明細書）、`a written statement`（供述書）などがあります。

---

45.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「合計の、全体の」です。形容詞の`total`は、「総計の、全体の」という意味です。すべての部分を合わせた数量や全体像を示します。`The total number of visitors reached one million.`（訪問者の総数は100万人に達した）。①「典型的な」は`typical`、②「伝統的な」は`traditional`、④「熱帯の」は`tropical`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`total`は名詞として「合計、総額」、動詞として「合計～になる」という意味でも使われます。`in total`で「合計で」という副詞句になります。`There are ten people in total.`（合計で10人です）。

---

46.

**解答** ③

**【解説】**

正解は③「～を減らす」です。`reduce`は、「～（の量・数・価格など）を減らす、縮小する」という意味の動詞です。`The government is taking steps to reduce unemployment.`（政府は失業率を減らすための対策を講じている）。①「～を再利用する」は`reuse`、②「～を導入する」は`introduce`、④「～を拒絶する」は`refuse`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：名詞形は`reduction`（減少、削減）です。`a reduction in costs`（コストの削減）。対義語は`increase`（～を増やす）です。

---

47.

解答 ②

【解説】

正解は②「問題」です。`problem`は、「問題、難問、課題」を意味する名詞です。解決や対処が必要な、困難な状況や課題を指します。`I don't think that's a big problem.`（私はそれが大きな問題だとは思いません）。①「提案」は`proposal`や`suggestion`、③「番組」は`program`、④「過程」は`process`です。

◆補足：`No problem.`は「どういたしまして」「問題ないよ」という意味で、`You're welcome.`の代わりにも使われる口語表現です。`issue`も「問題」ですが、`issue`はより公的で議論されるべき「論点」というニュアンスが強いです。`solve a problem`（問題を解決する）。

---

48.

解答 ②

【解説】

正解は②「（費用）がかかる、（犠牲）を払わせる」です。動詞の`cost`は、お金や時間、労力などが「かかる、要する」という意味です。また、比喩的に、何かを得るための「（犠牲）を払わせる」という意味でも使われます。`This jacket cost me 10,000 yen.`（このジャケットは私に1万円かかった（＝1万円で買った））。`His mistake cost the team the game.`（彼のミスでチームは試合に敗れた）。

①「～に値する」は`be worth`、③「～を請求する」は`charge`、④「～を支払う」は`pay`です。

◆補足：`cost`の活用は`cost - cost - cost`と変化しないのが基本です（ただし「費用を見積もる」という意味では規則変化することもある）。名詞としても「費用、コスト」という意味で使われます。

---

49.

解答 ④

【解説】

正解は④の`mean`で、「～を意味する、意図する、～のつもりで言う」という意味の動詞です。

`"Domo arigato" means "thank you very much" in Japanese.`（「どうもありがとう」は日本語で

「thank you very much」を意味します）。`I didn't mean to say that.`（そんなことを言うつもりはなかったんです）。他の選択肢は、①`mine`が「私のもの」、②`seem`が「～のように思われる」、

③`lean`が「傾く」という意味です。

◆補足：`mean`の活用は`mean - meant - meant`と不規則に変化します。名詞形は`meaning`（意味）です。形容詞の`mean`には「意地悪な」という意味もあるので注意が必要です。`Don't be so mean to your little brother.`（弟にそんなに意地悪しないの）。

---

50.

**解答** ②

**【解説】**

正解は②「言い換えれば」です。`in other words`は、「つまり、別の言葉で言えば」という意味の熟語です。前に述べたことを、より分かりやすい言葉や別の表現で説明し直すときに使います。`The price is half of what it used to be. In other words, it's 50% off.`（価格は以前の半分です。言い換えれば、50%引きです）。①「一方で」は`on the other hand`、③「その上」は`in addition`、④「要するに」は`in short`が適切な表現です。

◆補足：`That is to say`も「つまり」という意味で、`in other words`と似たように使われますが、`in other words`の方がより一般的です。

---